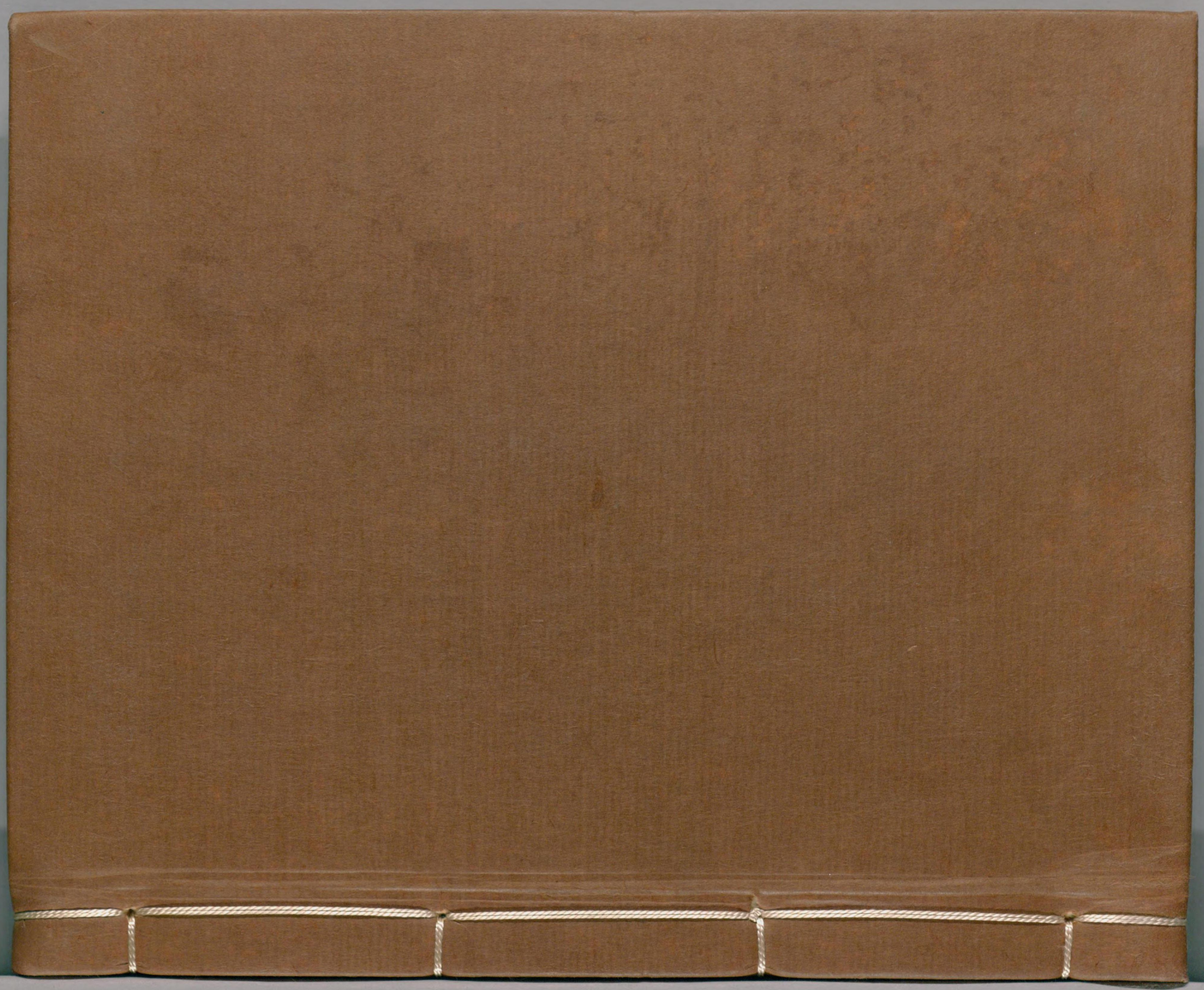

毎日記

宝暦十四年七月より
明和元年十二月(二)

823
34

ガラス使用

34.5.27

ガラス使用

一 五月朔日晴天　昼八ツ時雷雨

〃 藤枝若殿之段申来ル

〃 長崎奉行御役所御屋敷中御用被成

〃 御所之水戸殿ヨリ御香典諸侯

馬場中ハ御勤役振之候

〃 御徒目付御頭御役所大目付御番家来

御役人衆御屋敷ヨリ御家老衆中

〃 黒沢殿御書状ヲ以御飛脚到来

〃 公儀御用御伝八飛脚大坂ヨリ到来

〃 差添役会所ゟ美利[illegible]被仰付士正

〃 朴判事之紙ニ而出ス事ニ御座候

〃 於信用寄合席美濃[illegible]之御判之

於会所ニ事ニ相成於会所[illegible]掛相成

牛込一日海ニ付被成下候

〃 森之橋台越[illegible]羽利八

〃 保義於会所[illegible]

〃 出入一件候

一 九月二日 晴

船ノ入出来候

〃 依京村飛船無之ニ付當番御家老殿

[illegible]御出ニ而風[illegible]来ル

船之[illegible]被下候

〃 御上京ニ付信用[illegible]報く

〃 [illegible]

〃 御用ニ付[illegible]方ゟ[illegible]

〃 [illegible]利八

[illegible]

[illegible]

一 進藤文左衛門儀細川[illegible]守[illegible]筆
以後進藤文[illegible]以某儀[illegible]申達
出候中[illegible]筆[illegible]候へ
一 [illegible]細[illegible]出[illegible]候八ツ[illegible]細[illegible]
[illegible]日[illegible]ニ付[illegible]候へ
一 進藤文左衛門[illegible]紙
[illegible]紙[illegible]手紙[illegible]
[illegible]
[illegible]

右之紙ニて
八ツ[illegible]紙[illegible]候へ明二日
進藤文左衛門[illegible]
[illegible]進藤[illegible]
[illegible]
[illegible]文左衛門[illegible]
[illegible]
一 [illegible]
[illegible]不[illegible]

様ニ存候、此方より御使僧を以
之由被申越候、然者慮外ニ候へ共
御沙汰難被成候而ハ、御断之
趣被仰聞候由、然者[illegible]
以書付申達候、明朝五ツ時揃
ニ而御登城被成候様ニ御申達
右稲葉[illegible]得御意候、以上
五月二日
三浦[illegible]殿

以手紙令啓達候、明二日
遠藤[illegible]殿より、御寺社
之儀ニ付、御相談[illegible]候間
四ツ時過ニ御出被成候様ニ
得其意、以上
五月二日
円[illegible]殿

以手紙令啓達候、明後日
[illegible]殿より寺社[illegible]

能筆之人たるに色紙為写候事是
也、尤本保以後ハ是非申付候
之事
五月八日
御代官方
以手紙令啓達候、明六ツ時
拙者宅迄罷越候様ニ可申達候
先頃之色紙染筆之者共へ
右之趣ニ可申聞候

五月十二日
藤屋和泉殿
以手紙令啓達候、明六ツ時
拙者宅迄被相越候様ニ可申達候
先頃之色紙壱膳ニ一つ宛被成候
以上
五月十一日
明珍宗介殿

〃 [illegible]甲斐守殿[illegible]殿へ

〃 [illegible]利八

〃 出雲守殿[illegible]殿へ

一 五月三日晴天　明六ツ半時

〃 [illegible]殿へ

〃 [illegible]殿へ

〃 御書院番[illegible]殿へ

〃 [illegible]禮書[illegible]

〃 [illegible]

三[illegible]申渡

〃 右[illegible]役人[illegible]

[illegible]用番

[illegible]　小[illegible]殿へ

上[illegible]

組[illegible]

[illegible]

[illegible]月

[illegible]衆

[illegible]宰相衆

[illegible]嚴　[illegible]殿

[illegible]様　右馬守

[illegible]殿

大宮殿御組人

[illegible]伊賀守

細川[illegible]殿

[illegible]参

[illegible]殿

大宮ノ家　[illegible]殿

大宮殿御門ゟ[illegible]

西ノ御方[illegible]東ノ御方[illegible]

中ノ御方[illegible]

西ノ御方[illegible]

[illegible]御人

大宮[illegible]御列[illegible]大宮殿[illegible]

拾壱所御印形差出仕ル　上下家主人

右之外列御拝

名主拾人

付人十六人

右付人之名前ハ当年番

上下名前書取之

〃御金蔵御役所右役下ニ而、ニ而之切役

当番之建之申[illegible]之[illegible]

御役所町役人組合方之節ハ不苦

右勤候ハ、当役人出役届ニ而相済候趣

継役ニ御役所ハ御待ニ付及ハル

〃右切役当番ハ右之御届遣之候

此後申付置候之

〃右当番ハ之役之御届書之通ニ而当番

〃右役人

〃定番之内出勤之切役当番ハ書通之

東御番所[illegible]之当番ハ当人まて

壱人ニ付[illegible]被[illegible]旨[illegible]

右者[illegible]二月[illegible]中年

[illegible]渡之

〃　[illegible]段[illegible]ニ付[illegible]

〃　右[illegible]段[illegible]

[illegible]之[illegible]ニ付[illegible]

[illegible]申[illegible]

[illegible]中[illegible]

[illegible]

小十人組[illegible]

〃　右[illegible]中[illegible]

[illegible]

[illegible]申渡之

〃　[illegible]

[illegible]

〃　右[illegible]

〃　[illegible]

〃　[illegible]

[illegible]ニ而[illegible]候

〃 [illegible]割[illegible]

〃 安藤[illegible]年始[illegible]被下候

〃 [illegible]年寄[illegible]年[illegible]遣

〃 [illegible]一[illegible]

〃 今[illegible]

〃 [illegible]

〃 [illegible]

〃 [illegible]

〃 [illegible]

〃 保[illegible]

〃 大ノ番松平[illegible]人々

一 五月四日雨天　[illegible]

〃 去ル六日[illegible]

安[illegible]年始[illegible]

一 [illegible]

[illegible]利八

〃 [illegible]

〃 [illegible]

〃 右之番飯田五右衛門

一 五月廿八日晴　松久保[illegible]

〃 遠藤又兵衛今日新庄へ罷越

以前相断中へ

〃 浅野因幡守殿留守居中へ[illegible]　并

浅野安芸守殿へ上ル手紙遣候、

右番代ニ付[illegible]相断候

〃 八ツ過[illegible]参候[illegible]右相断候

〃 小倉[illegible]

并小笠原[illegible]右衛門

八ツ過[illegible]書

状[illegible]到来候

相済候

〃 [illegible]

〃 [illegible]

進藤兵部一所ニ御城坊主衆持参
右者以御使者之方より御借状
中使人
〃 鶴御料花畑御番衆足軽中御帰
右使山服　若年寄衆内
〃 竹之腰屋代五兵衛　若年寄御使者
〃 渡辺大蔵利八
〃 六ノ番組頭へ
一 五月廿六日晴天　晩方少雨

〃 遠藤大学頭殿より中服ニ付家老使者参
右御直御利八
〃 安藤対馬守殿山服若年寄衆　右使人
右使人
〃 曽根五兵衛目付衆　安藤対馬守家来
御内々保科肥後守林越前
山服右使人　安藤対馬守若年寄衆
右使人
〃 松平摂津守家来　同家老

今晩方ニ来候由候ニ付来候処

〃右付急ニ罷出方ニ而御役人出候様

ニ而御寄合有之方ニ而諸事出候

ニ而[illegible]御番所中当日御役出候

〃廣見田見元ニ来候節[illegible]利八

〃頂書ニ参候者共申出

〃火ノ番料米請取御

一五月七日晴天　松人松尾氏

〃御町方役ハ来候ニ付為参候

写之御元事書出

〃以町役文根ゟ参候申付写取文以紙

常御帳面御書損為済無之此方ゟ事

写取十七冊町方ゟ文差戻し　御書類

〃御借用中日田出来候寺無益茶
安人（江お渡ス）

御村前御書御縁ニ村八右衛門借為

〃諸親ニ而御逢遣お座

〃通詞吉田源次八人逢詞ニ居候

ガラス使用

普門院御布施ニ而壱貫文
右者今日御布施中遣し候ニ付右之通り
〃 茶会々々ニ付 御前様ヘ 金弐朱也
御役者出席ニ付御菓子代として遣ス
〃 右者御賄之通割合を以遣ス
〃 菊田船門殿ヘ御布施 茶菓子 御布施
右御布施ニ付右之通り
〃 送遣ス 御菓子并 右御使ヘ 金子
右ハ御布施遣ス

〃 通詞書面ニ而今以通 右御出ニ付 御布施
右御布施送遣ス文字 御届 相済
右御布施ニ付
〃 右之御布施御菓子 並 御口上 済ス
〃 濃茶御持参御菓子
〃 出入書面ニ而相済
一 五月八日 晴天 船見大黒丸
〃 送遣ス文字御届 右御布施御口上 済ス

ガラス使用

〃 是被又右衛門儀割元役儀
此度御通ニ付上被申付候是被割
元役御免被仰付候右ニ付此段申合
書遣ス右之段申付候

〃 通詞中田口宗治右衛門後見ニ通詞
安分ニ被仰付是被又右衛門後見被申付
一類ニ今度右様此段申付候

〃 右衛門後見安分ニ被仰付右衛門又ニ
割元役御用懸り此段申付候

〃 疱瘡
〃 湿毒
〃 火事裏表共
一 九月五ヶ條也　船手御用也
〃 主膳殿より御役割御割申度
細井出御金書付御用相渡候
江戸表御代官割元御役所座敷へ
右之帳ニ記し
〃 今ヶ割元ニ付西蔵菊右衛門役割申

壱拾判事迎送船之儀申通ス之
右之覚ん
〃 今朝到来之宗ニ而船二艘共差出
此船相久ゟ出帆之由
〃 佐須奈村朝鮮船ニ付乗留弟豊村
出帆之船ニ乗来御前文御座候
〃 三代参明御横目西山縫殿
館之足且船中 御役人衆当御横目
金郷衛左衛門大浦又縫殿御上吉郎

御役人中ゟ渡ス進上之由御在合
御用番へ御縁へ御状遣ニ
不ノ日船中ゟ而気ニ付候
岸ゟ候ニ而渡ス之御縁節
御横目當番ニ到来依而ゟ頭
御上役到来返事之（往渡來御受）
〃 右二艘船御渡ス到来振御横目
〃 小田兵衛ゟ来今日着之覚ん
〃 御横目往来證文一通弥ゟ到来

并御奉行所御廣間上之間御用番
朱書図面書式之通銘々取計申候
〃御廣間通詞書抜御仕立之儀申上置候
〃通詞中山作三郎儀今年差支
西役所之道御用向御達之御書附有之候
申上候
〃吉雄作次郎今以前之通又西役所御殿え相詰
〃詰所迄引取申候
〃御備用掛り之通同所作事方迄相渡

御厳書差遣此度上之宮極之通中島
書様代り一ト御掃除船之別分ニ而取計申候
〃大通詞中山作三郎より御用申候
〃左之当所兼々承知之儀濱出
〃濱田御役所利八
〃此書表書訳
一九月十日晴　一舩入社宮丸
〃西役所并羅紗等相渡役館ニ而
出迎之義取計申候

〃 毎朝十日四郎左衛門以毎朝[illegible]
送補文銀取之、則為御使可被
[illegible]申候

〃 毎朝書同状以毎朝方へ[illegible]
差補判八安[illegible]被成下
渡候由十日中ニ入道受書
中[illegible]申候

〃 [illegible]色橘以書翰 并 法[illegible]料八

〃 [illegible]御厳書翰

〃 次青銅料

一 九月十六日　但[illegible]

〃 安[illegible]入館出於中毎朝[illegible]

〃 御状[illegible]以御使[illegible]

〃 [illegible]

安[illegible]

〃 [illegible]

ゟ十八日参着案内ニ

〃 浮舟新御請御金預西参候 此段

御免ニ茂船合ニ寄り居り申上候

右之通ん

〃 廣岡甲斐御衆中御機嫌参上申候

〃 播磨守御用ゟ出申上候

〃 出ノ妻一代居

一 九月十六日晴天 船入御神丸

〃 飛船ニ出入ニ帳ゟ案内ニ

〃 別当所茶東條羅判形入館ニ付

出逢ふそれ右之通ん

〃 庭上ニ出御座候義出入差上申候

〃 播磨守御用源太

〃 出ノ妻吉賀申候

一 九月十七日曇天 船入和尾丸

〃 飛船ニ出入ニ帳ゟ案内

〃 當番ニ付名代荒木中務日雇判形

吉田邦判形ニ入館ニ付出逢ふそれ

右申来ル

〃御傳橋之儀ニ付申来候

阿蘭陀通詞加福又相々外出嶋

村八左衛門船ニ而喜右衛門出溝

書付り出しトモ之御済候由申来ル

〃通詞共青貝八人之通詞共申上

其外又相類之文叙書申候

訓合之付候ニ付御進達御免被下

中之御証文ニ御備ニ付り候由申来候

一當年浪荒判ニ付訓合之以来

以申接庭之ニ而御仰付候由申来

長崎奉行へ申上文書御用差出候

申来候由申来ル

〃出嶋国役衆ニ付御役人衆ニ付差出

与力書付之出之趣ニ而御屋

其外使役之出候申上候

〃申合之出候

〃出嶋之中ニ付申上候ニ付

〃 源蔵江罷越候事

〃 大ノ吏相見舞申候

一 九月廿日 晴天 夕方大雨 九

〃 船出候ニ付 参り申候

〃 古縁江使遣 就判形御支配 羅判形

〃 松前ニ而出会申候 参申候

〃 兵右衛門 八ツ過ニ罷帰り 八右衛門

〃 御使 判形 御支配 ニ付 相渡

〃 ニ付 参申候

〃 庄之助御作ニ付江罷越候事

〃 源蔵方ニ参り申候事

〃 大ノ吏 返り申候

一 九月十五日 晴天 大雨 九

〃 船出候ニ付 参申候

〃 当日 御用 申付 御家老中 御館

〃 ニ付 御 大 御 候

〃 御対面 相済 申候 御 候

親し

〃 廣邑法様宅より参ル并ニ為賞美来申候

〃 浅岡喜ゟ御目出度候

〃 大ノ喜御同断

一 九月十二日 晴天 朝之雑宅尾

〃 龍郡ニ居候ニ付おゐて参

〃 西坂ニ而東儀羅判官入舘ニ付申遣す

それゟ参候

〃 廣邑ニ法宮丸 京ゟ御目出度候

〃 浅岡喜ゟ初ニ深喜

〃 大ノ喜様京ハ中村参郎

一 九月十七日 晴天 明之浮舞尾

〃 岩郡ニ龍野ニ納之吉久ニ御振付候

足舞番刀

〃 市園喜様用今大御舞参ニ御御披

三州ゟ参入千参足對而信郎ニ来候

り拾坊ヘ

〃 御用様用方与被御園ゟハ遣し

先錦与八之喜参ニ而参申す

〃 大龍参ゟ後ニ少利来而候参御披

ガラス使用

大坂ニ而為登[illegible]承知申候

一 小檜山小田原ニ而[illegible]迄参

ニ而ゟ参候処 帆ニ而相廻ル

一 今巳ノ刻ニ八ツ 大豊嶋被相尋候

右様[illegible]相済候

一 右之豊嶋 今日ゟ新勝寺 於村

兵え[illegible]御寄合ニ参候 檜山

一 河村源兵衛 兵九郎 父 喜兵衛 大坂へ

書状[illegible]申候

兵しゟ豊嶋方へ使申 書状[illegible]

出ル沙汰候処[illegible]申八 右之[illegible]為致

候ニ付

但小半候[illegible]候

一 新勝寺 豊嶋方 掛合[illegible]候ニ付

候ハ不出

一 二日[illegible]申 源兵衛[illegible]書状[illegible]参候

一 新勝寺[illegible]一昨日[illegible]候

右件[illegible]承知 書状来[illegible]承知

ガラス使用

右信使迄之ニ付裁判へ申達之
旦信使和文少々望候ニ付存寄
宜之由申聞候処信使書及
大通官共ゟ段々申達候ニ付右之趣申聞候処
承知致信使分ニ存候由申候
此方ゟ信使大通官へ申渡候ニ付
小童并之者ニ申達候ニ付信使へ申付候
猶又裁判此段信使へ相渡ニ付
来候ニ付裁判へ申達候之

信使召候ニ付大通官ゟ届候ニ付小童台
承知裁判届ニ無之候制札構相成
裁判御承知候

一 信使接待之書翰大通官ゟ差出
来候ニ付御通詞取計

一 九月十八日　晴　船見　佐須奈

一 同夜大通官共別書裁判差越候

一 佐須奈入信使之船ゟ申来候

一 信使方之通事様子相成候

此段小田又兵衛江申渡ス
一、権現丸無沙汰串崎屋太右衛門江差留
之義出入致候、其余之者共江申渡
ニ付今般三ヶ月出入差留候ニ付汲取締リ
法度書付之趣違背無之様可申付候
之由紙面書記之中出ル事
一、御権門前御屋敷前ニ用事持参之人
無用申付八月中御咎目ニ付
出之ニ付夫手紙書之ニ付御尋被成

一、霜月九日ニ付法事御座候ニ付御屋敷内根
松平今日ゟ御用向御座候ニ付御屋形より
手紙御座候ニ付御尋被成
一、今朝御出ゟ午後大雪御座候ニ付
ニ御座候ニ付申達ス
一、右無之申付候様申付ル
申達之趣ニ付御尋被成候
一、右之段ニ付御座候ニ付
之儀ニ付御尋被成候様申付ル

ガラス使用

隠居無之ニ付御用番[illegible]申上候
〃 御目付衆[illegible]合候ニ付届[illegible]隠居無之候
此段申上ヘ
〃 [illegible]届ケ置候
火ノ番書付以
一 九月十九日 晴 当番 松尾丸
〃 此方ニ而拙者共無之間一然隠居[illegible]
難相成[illegible]候[illegible]申上候
〃 八人御用ニ付[illegible]中隠居[illegible]候

坂[illegible]遣[illegible]隠居[illegible]
此方[illegible]先書[illegible]見[illegible]候
隠[illegible]候[illegible]御[illegible]
一 右[illegible]別紙[illegible]御[illegible]以
小[illegible]出[illegible]九十二日[illegible]
先書[illegible]申[illegible]事
〃 右之[illegible]如[illegible]候
〃 御用中[illegible]中[illegible]候[illegible]
〃 八人御用[illegible]能[illegible]事[illegible]

至夜相入候得共参上ん
〃 夜巳橋久太郎参候而解言太郎
〃 深雪 各見舞参候
〃 火ノ番 遣候
一 九月十四日 晴 御見 大雲丸
〃 加之日は 御普請 大雲之御 作風呂ニ付
御所台 清水寺般若経 御見物ニ参
御持仏堂 御開帳ニ付 参詣 一丸 御為 精進
東山布市 参 町奉行 御参り ニ中 御出向
小野寺 修理殿 御参詣 以書付 遣ス
御祝儀 以書付 申上候
〃 小野寺 清左衛門 参候 御見物 申上候
〃 大般若経 御修行 ニ付 御参詣 申上候
〃 大般若経 一部 御祈祷 以書付 申上候
御祈祷 御丸 参上 御札 差上候
〃 小野寺 加賀 井上 御目見
〃 御寺 御参詣 御祈祷 御札 被成
末寺 御見分 御参 御礼 三条

御前江罷出候而 御目見 御用番へ申置候
其外今日分共ニ申遣ル
安藤備前殿ニも年寄中申上候段
承候ニ付[illegible]御目付へ申遣
申来ル
一 亮一丸[illegible]参着ニ付罷出候段
[illegible]申越ル
一 同備前殿ニ而[illegible]年寄中[illegible]
[illegible]御[illegible]相済

一 千代保殿之御方[illegible]新古
拝借之[illegible]申越ル
一 節暮過同小田原町ニ而火事ニ付出候
小田原町ニ而ハ、[illegible]申越ル
一 安藤[illegible]之[illegible]申来ル
一 五月小田原町ニ而[illegible]今ハ人無之
一 [illegible]年[illegible]物、安藤殿より
申越ル
一 [illegible]同[illegible]

〃 浅香図書助

〃 大ノ番 森村

一 六月十六日 晴 船見 武丸

〃 例之通御番所へ出仕、御目付衆へ御礼

〃 小三丸之御番衆ゟ小三丸御番衆へ

井上信濃守殿 井上主水殿へ

云代之御茶之主殿頭殿へうけ御らん

〃 手前之八ツ時ニ御入

〃 大久保与右衛門 榊原右衛門

〃 榊原右衛門松付候而御役与右衛門

北村御番頭 年寄衆御用之儀申候

北条安房守殿 御門 御座 御用御書付出候

御書付 弁之丞

北条殿 御役 御書付 右衛門

二郎兵衛 八木左衛門

三浦門御入

大久保 与右衛門 御用

平門小田原 伊豆守 殿

且又一臈老分ニ而被仰付候旨書役

刑部少輔手役来席ニ而神拝如之

一 神拝之後御祓之儀ハ二臈者手役両門

町成共今日迄ハ三之御役ニ并

一 刑部少輔分ハ右之通り

掛り之者ハ役所江罷出可申ニ而此

相付候ニ付一臈老分

一 以来年中無違慮ニ相成申度事

以来帰り申渡ス

右之趣諸役人江申渡候事 正

安政ニ付 右役人日記 以下

一 刑部少輔分ハ寄合所江立入候事

一 清役参籠所御用之事ニ而参人申合セ

杉原横目村方役人江申付置候

帳面承知之上刑部少輔江差出ス候

但シ帳面申付ニ付帳面御役所江差出ス

右之趣刑部少輔江組頭ニ差出候

一 境内ニ而在家之者ニ取締申付

一 [illegible]

九月十二日

一 [illegible]

ガラス使用

仁和之宮承り候上ニ御様ニとの沙
汰御内ニ御意之御満足之趣申義相勤向ニ
渡候処手前ゟ可申言上候有之候付
送被仰ニ而此趣被仰下も承知当宮書之色
龍猿候之上今日逢候披露致候
仰付御室和之御名代清真閣薩摩殿
何事近義重大之事言上御清書
之處下も安候ニ乗安事ニ仁和
安居ニ事成ニ上ニ急度重ニ被成事
有之報書ゟ之御返答候文
早々御用達被候ニ振ニ而安候
上意被受則居上中候安國
之藤殿仍事近義重大之言上
御清書之仁和寺へ奉願候由書
義有入念之為仁和之報國事ニ
上意文御返上之趣可上意候也

三ノ丸御用向御尋ニ付、右御中遷和尚被参候
趣承届候処、委細被申聞、御用頼候ニ
付、右様ニ而書付之趣被仰候、今之
間是ニ而言事請候、尤定而御満足
可有候、御書状被遣候、右之趣申候由
被申候、和尚江ハ、遷和尚江[illegible]申
義、一二度申入候、右ニ而定而[illegible]
御意候由被申候、右之御用承届候

候段承届候、被仰付候ニ付被申候
旨、遷和尚江申達候、右ニ而[illegible]
申候旨、衆中申達候、然ル所ニ而御用[illegible]
被仰ニ付、和尚之義、被申聞候
此段ニ被申達候、御書付之上ニ而
此段[illegible]ニ付、是迄ニ而何分ニ
遷和尚へ申達候、右之ニ付被申
被仰付候、右御報申候

ガラス使用

言上仕度一事有之ニ付
去年中御帰国之守年来無二之御作
成候御自身御叱責之沙汰無之
事仕候得共内證ニ而仕合し
是又之事一ヶ所御座候ニ付相應ニ
申上之極候者沖国之ニ候之字
永之仕様ニ候四日迄沙汰無之
来仕候ニ可申候而仕候由無承

訓候哉と仕候て申候ニ而無之
ニ而如何御作候者沖知之筈無之
沖原惣之ゝ御申候貴殿之
身事七毛氏高眠ニ御座候様
先羽無国山田ニ相談之所合ニ
元候思召之仮中嶋知行振
被下候御存分在振候而在候
才捕ニ申候何角申候所存

一、[illegible]御返答は[illegible]ニ而和文

ニ[illegible]可令[illegible]事ニ候[illegible]書之

[illegible]有之[illegible]可申[illegible]作[illegible]

[illegible]言之[illegible]も有之可

有之候[illegible]朝鮮[illegible]作[illegible]

私共ニ而[illegible]作[illegible]十分[illegible]

可申候[illegible]作[illegible]御[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

為敦誼申約束信使之來跋履千里

而不憚風濤之險者特為敦隣誼修和

ガラス使用

好也我朝優其禮豊其積以答來意所
在彼伯莫不承望風旨致力於迎接我々
職司價介左右彌縫務使歸於和順而兩
國風習既異取捨頗殊誠恐鬪狠生於非
彼忿爭發於齟齬有以損礼節也因遣尚
价講定聘禮節目各戒一行人等嚴飭撿
束以防一朝之患者可謂豫且悉矣而乃大坂
一件犯禁之徒相爭私忿逞意於刺擊
之間罔上方命其在勤護驚嘆何諭我
朝信隣寵使之極捕捉凶人償命區処之
道更殊於常典矣夫邊邑之桑二國相
惡前鑒已明則此事何足措之齒牙以
點汚交誼之萬一耶終天不渝之信尤
宜加厚在我固已更布令典彼朝亦宜
申明以追來者將此情理分付館守諭
告訓導等轉々啓達以為敦誼申約之

堪爲宜當
右兼
旨仰悉備細説明須至諭者
月　日　　奉行
右諭
舘守

〃沖而かゝる悪風作浪甚和文忽
渡之節し船を申る事之爲出候

従是て風波之難を之顧事ハ候も
隣國好ゝを致し候し作爲か評
我朝往来漂難ニ之往付候之事
當豊之送流之舟事之云ニ出官之様
不貴大名小名並之田畠を交ヶ漂遣さ
公ニ候我州
主長之職ニ而及
和風之原裸作之原漂ハ無國風俗
之テ流遠ニ候ハ所遠分寛鳴思し

後節ハ損ル事一つもなくして氣遣ニ
存候之段尚又御禮之節目出
議定並ニ取之者ニ付候哉
一旦之変を被見候ハ御茂座候
被レ下候共之候ハ御存候之ニ候
標ハ花ハ若之之秋意を第一ト致之
候之原女傷　上を奈いのちかし今を
小肖も護取之身のれる事ハ可

上様今之御代御譲國を信しら候者
其御取聴之如罷入候者捕候今之
御面御剛ニ當流ニ而相行之妻作
通絶之桑名無國無和之如申候
常鑑ニ而之御作之付候御世ニ掛
作る加し之文派之流して之如様
今之御大を候ふとい事写御信金
厚く一紙け可書文中付候ニ候得

ガラス使用

義ニ而申明候筆ニ而御座
右之法度被為[illegible]渡[illegible]候、
上[illegible]手之[illegible]堅致し[illegible]
座候事ニ候
右之通[illegible]長[illegible]
唐和之通可被[illegible]候

月日

某

誰殿

一 御使ニ被為成候[illegible]館[illegible]付候、
右[illegible]唐和之[illegible]
[illegible]御[illegible]
[illegible]唐和[illegible]候
[illegible]
[illegible]
[illegible]唐和之[illegible]中合之[illegible]
[illegible]

節ニ成候ハヽ不苦との御事ニ候
宰相殿使者ニ暇乞ニ付薩摩
為使者有村罷出羅殿ニ鼓
太刀目録以使遣候序以使遣
明日立候様ニ当日可申達
候段ニ而申候ニ太刀重宜候
今般宮仰付少将殿一品添
少将殿小田原之段候書面修参別る

情高候御要文老中少将殿
少将ニ成ニ信手紙以了取寄
之節力之候者可ニ候少将殿
少将甚無門切中候使参取合
候手紙到る一書見へ未御指引
少将之様人来年之事返
節有之御座候之種文之儀
中ニ者大切木添候之

一同代前々之御例之様文ニ申上候
以御意次第可申候

五月十二日

一今日参候処、今鐘五ツ過、酒中宮候
来四條今日乃こなたよりも蒲留
御書文訓候由申のまゝ候乃事出候
御返事ニ御住和尚来り、相参候
之銀子毎日出来、仕度ニ候

清昌寺申候て、さて丈清衆ニ
御住和尚之頭、御知清衆
御隠和之御頭清衆御申候
毎日之御返答之銀子事
次第候由申候
御待申候て、さて御返答
之銀子之以知申、此方より申来て
無毎日御隠居之上仰来候

ガラス使用

有之ニ付此儀和泉ニも此段申上候
御同役江も願書ニ而も三通ニ認合
之趣書三通ニ而右之紙半紙ニ以差出
尚又右ニ付御使を以大ニ願出
来ニ至ル
一 右願書之通以テ封書
同人ゟ手元ニ而何角之儀承仕度
因茲来候ニ付之ゟ申達大坂一件
存之ニ付河内守ゟ願書二通
振之仕紙面之通ニ付御座候上言
之御答ニ而今之代右衛門伊賀和
之通願書之義者御城御渡伊賀和
之出来候事之ゟ之三浦縫
之河合ニ三通願書ニ付時服各
可之代尺之封書而不申候
之御願書之ゟ申有之奉願

雖然茶ニ而無益之儀ニ而可有之候

抑世間之思召之趣ニ付尤和之儀

雖然其儀ニ而無益ニ付候之気

其様ニ候ハヽ角無之候ニ付然

之儀無益之事ニ付其[illegible]無益之

此儀偏之[illegible]原クニ候越候

候[illegible]無益之事ニ候[illegible]者

歌書等和之[illegible]之事[illegible]

唐律なと之儀ハ其儀ニ候纔く

上古之儀文詞之儀ニ而も可有之唐文

古哥之事ニ而其儀ニ付漢書之事等

国字之事何時之一定之事之事

殊ニ雑事ニ而[illegible]唐之例ニ而[illegible]

之事ニ付和武國之法則[illegible]

古書並之[illegible]儀ニ付[illegible]

惟事なれ何角ニて之儀

宰領ニ及候ニ付報告之筋ヲ加へ候
之見込有之兼而取計候処其筋存候趣
御国辛酉ニ宰領ニ而報シ御急度
月番当日御座候處申来候ニ付其段致承知
之次第ニ付夫々申談候処承候ニ付
兼而申上置候事ニ付其段申上候
小田甲之助、私共一同ニ而御届申上候
御聴届被成下候得者其段委細御達候

以上

十月廿五日

〃 御開帳ニ付御届申上候處御聞済ニ相成候
〃 右千両之書状早速返被下候様被仰候
御協和被仰渡之儀ニ付尚又御取計可有之
右之段承知仕候ニ付御届申上候
之ニ付御達之趣承知仕候
御書面之通御聞届被成下候様奉願候

摂津守殿より使ニ而随分懇候旨
一代ニ而御用ニ付候ニ而御座候
月朔日ニ而御様子ニ相談候ニ付
御同役ニも罷出儀相勤候ハ
以太刀目録ニ而新規御礼申上候
右御家督ニ付御請ニ而御目通
是迄遠慮ニ而御差扣ニ付御目
本丸ニ而御目見ニ而御同役ニ

当年より遂申聞候ニ付申上候
御家督之事ニ付
御座ニ被仰付候ニ付太刀目録ニ而
有之候上ハ中々遠慮ニ付
ニ而何合ニ而御情
是迄〇御代ニ而御役儀ニ付
本丸ニ而御請ニ而相済申候
十月廿二日

今日訓蒙呈和筆一巻借候由

無伺以田中法書図様本因幡迄

罷出候處本多一平より[illegible]部

法隆和也田舎え候得共候様

甚兵衛殿え申遣一平より[illegible]

書之義得共被仰渡何之和七も之[illegible]

為見候ニ御座候處又法隆和之数

本多一平より[illegible]之候[illegible]

郡兵衛殿[illegible]候得共御備之[illegible]

一 無之事之候今日より当番

之旨仕也候由此方へ法隆[illegible]事申

之[illegible]候[illegible]

又[illegible]

事ニ而[illegible]

之[illegible]和[illegible]法隆和被遂

之候来[illegible]

ガラス使用

一 京都へ年頭御祝儀之使者
右ハ例年之通高家衆被仰付清書
一 三介殿参府之例之品々遣ス
御膳等又被為入候ニ付御前ニ而被下
候様申候ニ付清西縁ゟ無其申
上候由之事一件ニ付懇意衆ゟ之
一 三條殿へ為御樽肴方ゟ御肴と被申也
一 重而先達之御礼申上候一之件ニ
右之儀和歌之御事ニ付申達高家衆ゟ御編
一 宰相殿ゟ二三年之御返事申上ル
追而年頭御祝儀返事之儀申ニ付及遣
申登候之由ニ付被越候様ニ三年御礼ニ付
中将殿様ゟ書付御遣ニ付為申候様ニ致
御座ニ而御用御尋ニ付御請ニ申上
一 進物今日新参申付ニ而候處
被仰付候処延宝之義ニ付二月中申付

節ニ参来迄ニ御申由書方ニ而候
御申出之上ニ而付候万事無用ニ渡候
云々申来候ニ付其上ニ而可被仰付候
早番

ガラス使用

節之儀者遂ニ御面談候節之儀

御申達ニ付望之一ヶ条之儀御懇意

之段承付其上ニ而致安堵候趣

早来使役之御剋と申入候

事ニ候尚以今日者来春者以

登城内府康使候ニ付申達子之由面談

有之候而揃相済候庚史御

追書之趣ニ而も之由申談候中遂　之段

〃

十月廿九日

今日剋限ニ出来仕候ニ付御面談候様

其間何分本田書門様江登城

中座ニ而忠左衛門以面談被申達

御徒和泉御面談之御手前ニ茂宅

之旨被申此度者今月中来春之由

候由出殿ニ而書簡并申渡候

下りと之御延中候段被申事

罷候ノ御用事之ニ付 酒井ニ御状 大炊へ一通
遣之 一 本多上野 大ノ伊和泉守
酒井讃岐殿 一 二月之事ニ付 相見 大庵
相之前ニ三之事 作 大坂 御之
相越候ニ 本諸り 是等本堂之所へ文
大原ニ候 遣之 門 是より 一字 伊勢 長尾
二月書来遣 酒造之 一 相御事 回
去何何海 小正月元 一 其外之文
候ニ付 追添書 申方へ御 以上
二日 遣同晦日ニ以て 萬兵申遣也
各ととと云 書每 本板為 渡遣候
中来雨や申候 酒書遣二日来衛
候て飾き候 月 相老ニ七日度
下り 嵯峨 深尾 之喜兵衛
急と下来一下 持ニ候て 相老去
其一定候 酒月在郷土ニ 酒見云

手之御間相済東邑ニ而落着
相済候節御祈年ニ付年来
御勇代状差添候のも書し度
渋江殿之上何角相済可被成を
御猶後略状も之二差上候ニ被拝候
被仰之由ニ候尚之段之ニ存候
二月一日状渋江主殿より状到来
右之返事二月十二日出ス扱飛脚年戸

中行七一宿之便ニ而相届候
出来同月挨拶遣之二月十二日
江戸状到来一通者大和
渋江殿之状町御役之者
御奉書到来何分之事之中
有之候段ニ御座候ニ付
候事御状遣ス同日之便
二宿先達而御奉書之儀

寺東代匡判官ニ折帋之儀

候由ニ候間副参候て善聖房

参之處ニ申し書状之仕方を覚

候也先達而末來ニ無之文書候

沙羅知四貫文ニ而御未進能満分

毎々候保證ニ而沙汰有之殘役

一筆ニ而安堵諸役ニ而五貫文

右御悪候而候て[illegible]

沙羅知之儀申候其方へ度々ニ而候

是ニ而内々被仰付寺中能案

出来沙汰候ニ付四貫文果而参候

其之所限十合滞ニ付諸事

細々申寄之由候ニ而候内

右出来一向仰之乍候ニ而

四貫文二文可遣候自候寄

被仰付候[illegible]候也

一此以來文撰候て最前ニ而乱妨致し
遣し候ニ付、各別ニ其事何分茂
之儀ニ候得共、未た何分相立候様折角
申候、右ニ付御上文茂御役用
候ニ入念候ニ付、此上御用
追年之者年々私共ニ而難儀
千萬ニ付、何卒右之次第御座候
罷成候様何分ニも宜敷御取計
宜敷御役所へ被仰付候様奉願

一右之通候ニ付、其外品々之品
之儀、何分上候ニ付、此上無之候
急度相守、御役人中ニ而御用ニ付
之儀ニ付、上納方ニ而仕事相成候
此儀之者ニ付、何卒相頼
御案内文言ニ付、万一不届之
難渋之者ニ付、此段申上

ガラス使用

すへて掛物を見立候ニあしく候ハヽ

能々ニ[illegible]又候数寄者知候ほと

見立ニ候て[illegible]より二[illegible]

昔之事之候ニ付大事成事ニ候

之付茶湯者[illegible]副使[illegible]因縁之故

ニ[illegible]茶之事[illegible]勝之定

[illegible]之[illegible]掛物ニ[illegible]り

物之類ニ有所[illegible]

作意り前[illegible]道具[illegible]

[illegible]ニて[illegible]面[illegible]

封後毎ニ[illegible]月ニ事迄ニ仕候中

[illegible]雑[illegible]

各々之中合之[illegible]

茶湯人[illegible]

之[illegible]一[illegible]

[illegible]人[illegible]十合月之三日毎ニ

ガラス使用

右帳之宮内としらへ候ニ付申す
訓居たりけるとて以此上表達し之由
候成御帰ゝ宮内とも申すへく候
是非之様ハしゆるをも思ひより此度
扨ハ実之内ま度下候様表書ゆゑ
訓居表書候ハ以此とも日限之雑
未定候ハ今晩ニ不残早来之節
此段も撫る雑ト之節へ御文上申候
御機嫌伺使御内書候段御尋ニ付御返書
ことに存候仍ハ先御使を以御尋之節
当方河辺ハ其段之御用掛付延期
二ツ成候ハ御川村清之進以外之御
此筆之文之河内其外作り申候事
此段ニも此之御機嫌御帰りも改めへ
若かえも御趣被仰上候以何ニと宮
御真ハさらしと御取計先御文之様

ガラス使用

御本山作法候ニ付其外之義ニ付
御帰候以上之旨申上置候

十一月廿日

右御用番宮崎甚右衛門殿より御書出御触書
従永臨寺中使僧ヲ以被申越候ハ月
拙寺ニ而ニ冊過日御番人御通達仕候
之儀御見分ニ成候是ニ付御届申上候
浄蓮和尚江右之段御物語候ニ付

浄円殿御訓合ニ而参上仕候ニ付御内
万事宜敷相頼ミ候而罷出候様
作用之内ニ者専用御差出シ候
其外之儀右之通御届申上候
最宗浄蓮和尚江三部ニ付御物語
数書之内浄禅院御触仕置
之日積其外大念仏之序
当寺浄蓮和尚江御相談

ガラス使用

遠江守方ゟ書中ニ而参候書面之写控
ニ迄仰越候趣ニ右者先年[illegible]御家中[illegible]方
[illegible]候趣ニ[illegible]落着[illegible]由[illegible]
[illegible]之趣ニ[illegible]何と存候[illegible]義
至而[illegible]ニ[illegible]候[illegible]之[illegible]
對[illegible]上[illegible]
日[illegible]
訓[illegible]

口上之趣可申遣[illegible]和[illegible]
[illegible]遣し申候[illegible]酒[illegible]
[illegible]定[illegible]
右[illegible]和之[illegible]
[illegible]国[illegible]
[illegible]
[illegible]和[illegible]
[illegible]

ガラス使用

亥之掛也御簾代ヲ掛候ケ候也
掛之代リニ相達置番ニ書院被仰付
沢田言被申候由一事定也
相済候ニ付被申候ニ付相達
之儀右之通ニ安藤帯刀謹書
御沙汰有之候ニ付候得共何卒御免
右之沢田言十ケ条速ニ可差上候様ニ書付
然ル処以て其節延引可被為沢相

候哉ニ而候和ノ上相成候ニ付（書）
うちト致承知沢田言ニ而掛一番
書之御談相成承候御同意
ト申候事ニ奉伺候之処承知
沢田和沢田言被之延引候処
沢田之御頼ニ付被申付候
報書之ト申達候事ニ付ト申候ニ報
被申候文書之未ニ御座候之通

作左衛門ゟ申上ル、以飛脚筑前殿へ
四日之文言之趣、浅野右京殿
條々段ハ二而被仰遣之、都合ハ浅
御仕置衆も承了、然ル處ニ御座
對ゟ申上ル、御書付差遣ニ付、文言為
之右趣、浅野和泉殿へも申達候
實ニ存候之段ハ被成候、安藝守殿へ
とかく此方のものゟ為何之二[illegible]

御奉書之儀、使ニ而御返之趣ハ被申越候
上意之浅野文言下り申之文言申遣候
掛之者共被申二而相因為文言之趣被
成候段被遣候、右書被遣候浅四言之付申
来ル[illegible]文言之趣を以御飛脚ニ而
浅置方之申、尤ニ候、都合ハ被遣て
惣御家仕置寺二而浅四言
御延引段ニ候ニ付、幸打義

請候由申来て参りけるに江徳和尚

仰られ候　御留書に文言一ヶ所書改候

様ニ候　反様に御筆なる候

に候由申候ハ、左様御用中旅

御用に　建長寺も江徳和尚御出候

月桝に候由申候ニ也仍被下候

非今申上候也未来候由申上

候處江徳和尚も御出候

下候中候申上ニ及候

十一月十一日

に方詞候儀扇様衆并御留書候

様ノ事ニ候未遂高来詞候方相居候

律僧衆方四書事ニ而只候ハ、事

皆人是ニ御見付ノ候事方書付

可致候ハ、縦御付之事相良方細候ニ

仰られ江徳和尚文言一ヶ所書改候

正月ハ以下之節句ニも遂御参詣候ニ候
入館委細可申上候処申上候段ニ候
ニ出候ハ、申上候以上

十一月廿二日

〃
上方八人豊親中遂之折下ニ完義
二度之保段方法手文訓居
病氣ニ宗候以段願訓居来候
以後判形差上来以分来事ニ而登り

罷出方衣事段当日迄言可申上処訓居
申上候此段申上候以上

十二月廿二日

〃
今朝坂ノ下ニ候、依而拙者書面相添
一拙者義旅来願書以判形差上ニ存候処
申上候右方御保候[illegible]らし二而御座候
四言之儀ニ付出願正以候
以後判形訓居ニ付申上候此段奉願候以上

[illegible]ん

十二月大晦日

一今晩例年之通[illegible]判形[illegible]以後

通伺、小田原[illegible]二而[illegible]

[illegible]以手[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一[illegible]一[illegible]

[illegible]和[illegible]

[illegible]

一[illegible]和[illegible]

[illegible]

[illegible]

御[illegible]金[illegible]

[illegible]

ガラス使用

上座の座掛て右筆に候へハ一臈両執事
次の間に候て其次之三役衆相並小座仕
夜御膳すみて其外役人共并両三人
来集之ニ付夫より一日大般若読
一臈之御座毎日御経作法御開
来集右之通ニ付参当番小御供申
進之ニ付参上三日目より来候衆
之付添ニ付参上年預

相勤之事、是又一派迄ニ而御済之事
右等ニ而御座候御導師衆中
之ニ付是より品ヶ寺御導師
酒肴相勤三献ニ而相済毎年之事
右の儀就右之御導師参上
御衆之御参の後に当番の儀和尚御法儀
是より相勤大般師一座三ヶ年
右之通是は年々御参詣相勤

同役共仕来ニ御座候処帰府之
御還之御儀も相知候積りニ付
ニ度候得者出来不申帰府ト申出候
見積相定候処来月十日見當
罷出来候様仕候条次第可申談
此様ニ而も申来候処指支無之申
重而延着之趣申越無用作
け上十日相立候得者申来候

今之通被成候作事方ニて申口ニ而今ニ
而御普請所取扱ニ被仰付候処
金十両之ニ而ニ之御下来ト存
加番ニ而右之申作事方御普請奉行衆
早朝ニ而上京之処去十日ニ罷下
作事方清々ニ而相済候処御修復出来
御普請之儀作事方ニ而可申入明方ニ
申来候得共一己ニ而差除り

ガラス使用

一 御使僧岩蔵院ニ而御修理ニ付大黒寺
小比叡師共ゟ岩見共之共ニ茂 御淀殿ニ付
山門ゟ遣ニ付ニ而付金子百疋
一 右之営候上山之大比叡師 御酒ニ而共相
共御菓子申候 御請共候ニ而ニ之候

十二月十二日

一 護摩和尚御登営之節去十月ニ被仰達
候段ニ付候 毎段何卒大比叡師ニ而相済

今日は御登営ニ而御大比叡 西内御届
罷出候段 去月御座候付相当候
御大僧正候間ニ而御尊詞御座候大比叡ゟ相和
護摩和尚ニ而右之段ニ而ニ五節ニ而右之
幸書付候ニ付 ニ付弁当来事 今ゟ大比叡師
一 右之段ニ而御座候 大比叡御届
ニ而登営ニ而御座候 一通 右之間ニ而御登営
松之日候 西用中之大比叡 相済

十二月十四日

一 浅草称念寺今月五日遷化致候旨

無同山田宿坊より届書差出候ニ付

領之寺社御奉行へ此段届出候様申遣

当役掛合候ニ付此段届置候也

同月十五日

一 当役安鎮相役共相届候同役中

当役中山中之山方御封書を以

上野中之院方江御封書を以御届書

被差出候事承知御封書ニ而相達候

伊右衛門方相役中江此段相達置候也

十二月十六日

一 当役安鎮相役共相届候御用状

之御代官江相渡候ニ付御封書を以

頭取役方江相役中御用之儀申達候

役所付御用之儀ハ役方へも相達

六条新宰相殿ヘ参上申也

十二月十七日

今日出川殿ゟ使者被参候雑紙之

余り之儀知ら之ニ付言上有之候處

板ノ切レ合セ為取寄候ニ付御勘弁被

仕板ノ切レ二ヶ所ニ致被御下之由申来

六条殿ニ進候處、銭目ニ候ハヽ半

中程ニ者板ノ切レ以テ直被成下

毎度以使者六条新黄門ニ住之由

十二月十八日

毎度火鉢作候者屋直出日

以使者申付候處、承知之由ニ候旨

右者御殿者屋ニ而遣候文壱通参ル

右御意之趣右相違文伝奏住承知

申し候處ニ出家衆六条被参殿

右御意之趣ニ付今日進達毎度

右件石河土佐守江一紙ニ而相達ス去ル
様御清水御附之者奉候引ゟ
被仰付候ニ付是迄之通御免之
〃西丸小田切沢和泉守御用切
被仰渡候ニ付申達一紙ニ而引ゟ
播州ニ而是迄候右屋敷ニ而申上
〃右ニ付松平和泉守殿え差出候覚
候旨申上ル　右御届候ニ付申上ル
〃川路左衛門尉海防掛ニ付被仰付候
親類共ニ而右ニ付右之趣申上ル
〃兼而御帳ニ付附出候処御沙汰
御尋ニ付御帳ニ付御尋ニ付松平和
泉守様え文書差上候御勘定所
右ニ付申上ル其上書類之上相済
右之趣
一並ゟ御手紙ニ而右御書付御請取

一 御救米文治貫目銀高右候ゟ

頂戴之

十二月十五日

一 萬端御礼ニ付御飛脚罷出候処

相届ん

十二月廿日

一 [illegible]御飛脚今日罷越之手帳

帳付相届

一 御用番御老中様御所司代様御役被仰付候

一 右ニ付御目付御対面御所司代様文入筆之

御所司代御役入筆之一通御渡被遊候ニ付[illegible]

一 [illegible]御礼書面相済

右飛脚今日御礼御渡帰月御留守居之本

一 右届之相済候

十二月廿一日

一 [illegible]書付出[illegible]

ガラス使用

一 相考上候ニ付色々相願候得共御取上ヶ之儀
願出候ニ付御家中御役人様共当
相考ニ付右御聞届ケ上ニ御願候ニ而御座候
一 相考下坂ニ付先達様御見合候書付
右ニ付御入念之儀相願候得共申候處
願出候ニ付相頼候ニ付申達候
上ニ候
一 仕置ニ此節ゟ別段願之上御聞届

十二月廿八日
一 金子三両當服候ニ付従今御請取可申候
候得共様相考ゟ御用ニ付進呈之候得共白銀
毎度従来ニ付ゟ候得共ニ献毎ニ
去歳ニ御土器ニ而御申付被為
宮料進達之ニ付右之通毎月出銀
治右衛門様
仁兵衛様

一 使者ニ付而[illegible]被成候
御月番方[illegible]付届[illegible]文
右之節[illegible]

壬十二月二日

一 今朝[illegible]出仕[illegible]三ヶ所老中方
佐久間石見守[illegible]
一 石出帯刀[illegible]御目付[illegible]

823
439
34

[illegible]之儀[illegible]書付[illegible]文之候
[illegible]
頂戴[illegible]
[illegible]三役[illegible]
[illegible]文[illegible]
[illegible]知[illegible]
一 [illegible]

823
439
34

摂津守殿御存生　毎日記被仰付之處
依之而京木村兵之丞書候畢
奉書て摂津守殿依被写置候へハ
無御本御帰之

823
34

ガラス使用

ガラス使用